

成長とその条件

5年	条件を満たしている実験区をしっかりと成長させる
	成長させるための基礎

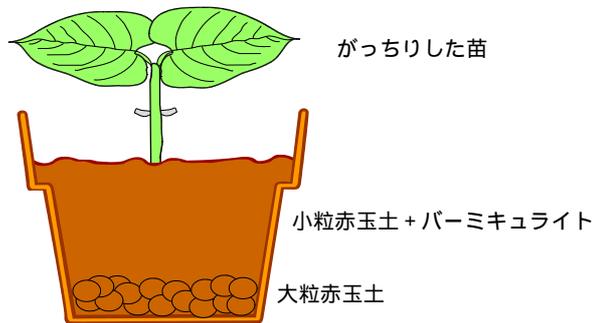
発芽と同様に、実験のポイントは「成長の条件を満たしている実験区がしっかりと育つか」というところにあります。成長の条件を満たしていない実験区は当然のことながら成長しません。しかし、条件は満たしていても栽培方法に問題がありうまく育たない場合もあります。ここでは基礎的な栽培方法について提示します。

上 肥料なし 下 肥料あり



1 しっかりと成長させるために・・・準備

- ・土はバーミキュライトと小粒赤玉土を半々で混ぜたものを使いやすい。
(赤玉土も肥料分はない)
- ・鉢の大きさは地上部の成長に影響を与える。大きめのものにする。
- ・風によって苗がぐらぐらするので、やや深植えとする。

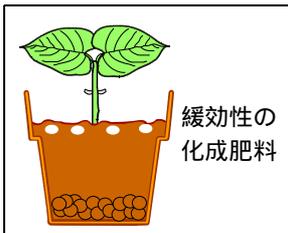


初期の苗は、根張りも未熟であるため、強い風を受けてぐらぐらしてしまうとその後の成長が悪くなります。バーミキュライトは軽いため、単独使用ではどうしても風の影響を受けやすくなってしまいます。風のあまり強く当たらないところで管理しておくのがよいでしょう。

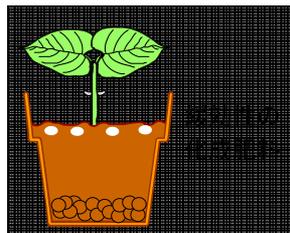
2 実験区の設定と留意事項

日光と成長

野外で直射日光に当てる



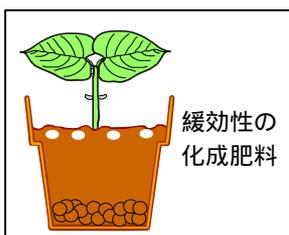
日が当たらないようにする



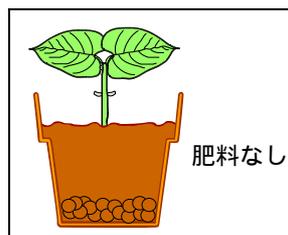
- ・直射日光に当てる。
- ・肥料は粒の大きい緩効性の化成肥料を土の上に置き、肥料ありの条件がすぐわかるようにする。
- ・1週間に1度液肥を与えるとよい。

肥料と成長

野外で直射日光に当てる



野外で直射日光に当てる



- ・直射日光に当てる。